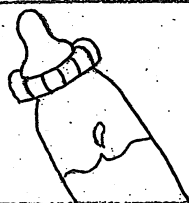
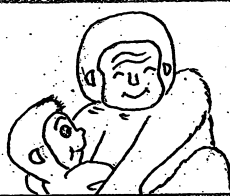


ほ、にゅう びん  
哺乳瓶 →



ちち 乳を飲ませるための道  
びん

ほ にゅう るい  
哺乳類 →



はいこきゅう ぼにゅう こ  
肺呼吸をし、母乳で子を  
育てる。  
びん

てつ じん  
哲人 →



てつが  
哲学者  
見識が  
高く  
道理に  
通じて人。

せん てつ  
先哲 →



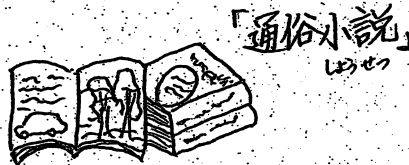
せん  
前代  
哲学者  
の賢者。

ぞく あく  
俗悪 →



いやく  
粗悪  
など。

つう ぞく  
通俗 →



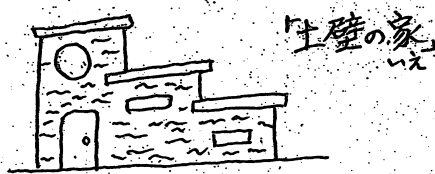
いやく  
一般向き  
で読み  
誰にも  
分かり  
やすいこと。

へき か  
壁画 →



かべ  
壁に  
かけて  
絵画。  
へきめん  
天井  
などに  
描かれた  
絵画。

つち かべ  
土壁 →



つち  
土で  
塗った  
壁

きん かい  
金塊 →



せいせい  
精製  
した  
金の  
かたまり

つち かい  
土の塊 →

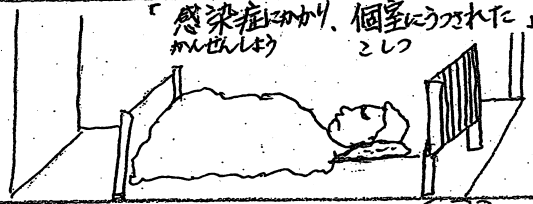
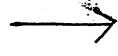


つち  
土が  
かたまり

# 漢字工房「新しい博物学」の時代 No.2

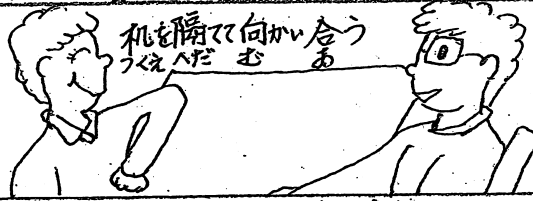
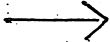
3年

かくり  
隔離



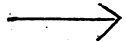
へた=てるニシロ  
へた=て<sup>はな</sup>離すこと。

きょり  
距離が隔たる



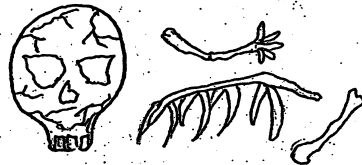
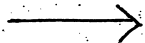
あいだものをお  
間に物を置く。  
きょり距離をおく。

ぼくおん  
爆音



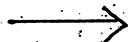
ぼくおん おと  
爆音ある音。

がいこつ  
骸骨



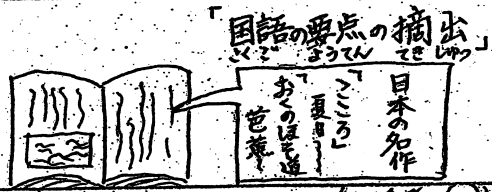
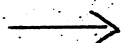
はつちほね  
肉が落ちて骨ばかり  
なつた死骸。

けいがい  
形骸化



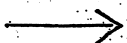
どうしや いぎ うけ  
当初の意義が失われ  
かたち  
形ばかりのものになる

てきしゅつ  
抽出



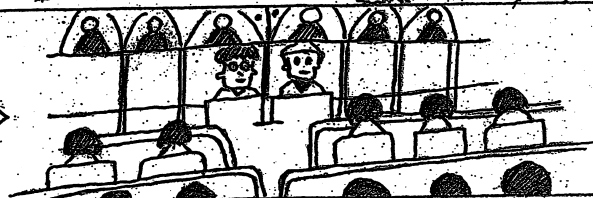
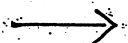
つまみ出すこと。  
めきだすこと。

はな  
花を摘む



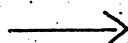
はな  
花をつまみとること。

かいてい  
開廷



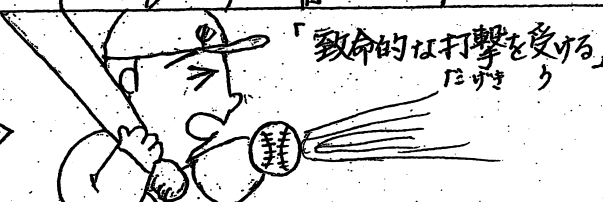
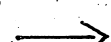
ほうてい  
法廷で審理を開始すること。

きゅうてい  
宮廷



こわ  
國王の居所

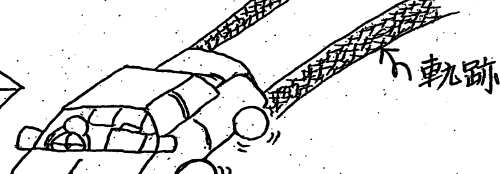
ちめいてき  
致命的





しめつ  
死・滅亡・失敗の原因

おも いた  
 思いを致す →  「ふるさとを思いを致す」  
 おも 思いをめぐらす。

こく ふく  
 克服 →  「病気を克服し学校へ行けるようになった」  
 どりやく こんがら せん  
 努力して困難に打ちかかると

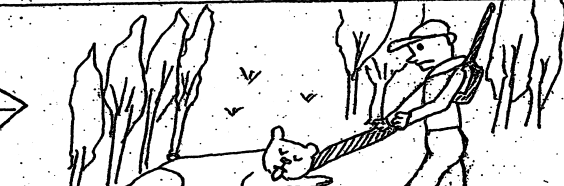
き せき  
 軌跡 →  軌跡  
 ほと かわら びと  
 車の軌跡。前人の行いの跡。

じょう き  
 常軌 →  「常軌は方法で山に登る」  
 通常のやり方。

く のう  
 苦悩 →  良アイデアが出ず苦悩する  
 くる 苦しみなやむこと。

なや  
 悩み →  「友だちに悩みを打ち明ける」  
 こころ つか くる  
 心の中の苦しみ  
 心配ごと  
 しんぱい

かく とく  
 獲得 →  水泳で金メダルの獲得を目指す  
 どりやく てい い  
 努力して手に入れること

え もの  
 獲物 →  獲物  
 しの 獲物など、た 動物など。